

(別紙 3)

【鹿児島県垂水市】

校務 DX 計画

校務について、多様な働き方実現に向けた環境整備として、教育委員会サーバーを端末や場所に依存しないクラウドサービスへの移行に向けて取り組みます。これにより、学校内のみでなく、学校外、例えば在宅勤務が必要な場合など、多様な働き方を実現することができます。

また、利便性を高めるとともにセキュリティ対策も強固にしなければならず、「認証によるアクセス制限」という新しいアプローチでセキュリティを確保していく必要があります。ゼロトラストを導入することで、ネットワークや端末に依存することなく、いつでも、どこでも安全にサービスを利用することができるようになります。

学校間や教育委員会と学校との連絡や通知、教職員の出退勤管理は、引き続き、原則、教職員用グループウェア「ミライム」を利用して行い、押印についても原則廃止に取り組みます。

次世代の校務支援システムにおいては、これまで使用してきた校務支援システムに蓄積されているデータを継続的に使用できるソフトウェアを優先して選定するとともに、オンプレミスによるサーバー及び行政回線の利用からクラウド利用によるシステムへの移行をすすめます。

なお、校務系と学習系のネットワークに分かれており、教職員は2台の端末を使用するしかない状況であり、利便性とコスト面での負担が増しております。2ndGIGAによる端末整備よりも1年前に校務用PCの入れ替えがあるため、学習者用端末の入れ替えに備えた計画的な校務用PCの入れ替えが必要であると考えております。

このように、ICT機器を活用して、校務の効率化を図ることで、教職員の事務負担等を軽減し、児童生徒と向き合う時間を確保し、教職員の働き方改革を推進します。